

# ゆきひめ 「柚鬼媛」誕生までの軌跡

平成25年度から「鬼プロジェクトチーム」が主体となり、本格的に始動した「鬼のまちづくり」。その最初の取り組みとして、平成27年2月1日、道の駅森の三角ぼうしに鬼のモニュメント「鬼王丸」が誕生し、世間にその名を轟かせました。現在では、「鬼北町」と言えば「鬼王丸」と、名が上がるほどの唯一無二の存在です。

そして、今回、さらなる町の活性化を図るため、第2弾となる鬼のモニュメントの設置が計画されました。

## 第2弾は日吉地区に

平成17年1月1日に、旧広見町と旧日吉村が合併し、誕生した鬼北町。この町には、道の駅が2カ所存在します。一つ目は、鬼王丸が降臨した「道の駅森の三角ぼうし」。そして、二つ目は、旧日

吉村にある「道の駅日吉夢産地」。このそれぞれの道の駅をつなぐ国道320号線を観光ルートとし、連携した取り組みを進めていくため、日吉夢産地への設置が決まりました。

## 母親像の真意

新しいモニュメントの設置場所となった、道の駅日吉夢産地がある日吉地区。その中の富母里部落には、古来、安産と家内安全を祈る伝統舞踊「節安花とび踊り」が伝承されています。また、上鍵山部落には、雪の中産気づいた女性のお遍路さんが、岩に腰かけて無事お産をしたと言われている「子もけ岩」があります。そして、近郷である三島地区の延川部落には、母乳の神として「乳神様」が祀られています。

この数々の伝承に相通じるものとして、未来を託す新たな命への希望を込め、幼い鬼王丸を抱いた母親像の姿となりました。

制作にあたっては、原画作成を「鬼王丸」を手掛けられた造形作家の竹谷隆之氏、モニュメントの模型制作を、美少女フィギュアのパイオニアであるボーム氏、そして本体制作は、株式会社海洋堂および株式会社奇想天外に依頼。それぞれの思いが詰まった「柚鬼媛」が誕生しました。

## 名前の由来

一般公募で応募のあった327件を基に名付けられた「柚鬼媛」。

愛媛県一の生産量を誇る「柚子」、そして「鬼北」の「鬼」、また、古来、山の守り神として崇められたのは女性であることから「愛媛」の「媛」の文字を組み合わせて命名されました。

森の三角ぼうしには「青年の鬼王丸」、日吉夢産地には「柚鬼媛と幼子の鬼王丸」が、鬼のまちづくりのシンボルとして、私たちを見守っています。

いかなるときにも道を正し、励ましを与え続ける母「柚鬼媛」。その大いなる愛を支えに、人々の期待に応え、見事に知徳を發揮し、活躍している「鬼王丸」も、その力におごることなく、未永く地域の平穏と活性を見守り続けてくれることでしょう。



## ◆柚鬼媛のプロフィール◆

- 身長 約5m
- 体重 約700kg
- 体質 丈夫で長持ちするFRP製(※)
- 特技 「家内安全」「縁結び」「安産祈願」の3つの願いを叶える力がある。
- その他 着物は柚子の色をし、水色の帯は清流広見川をイメージしている。

※FRPとは…繊維強化プラスチックのこと